

3学年通信

文京区立文林中学校第3学年
2021年12月11日(土)
第13号

班替えをしました！

11月29日より新しい班、座席になりました。新しいメンバーで一層交流を深めて欲しいと思います。また全員が自覚をもって、係の仕事に取り組んでいくことを期待しています。

	1班	2班	3班	4班
班長				
副班長				
整美係				
集配係				
給食係				

<班目標> (1)は学習面、(2)は生活面を表しています。

- 1班 (1) 受験勉強を頑張ろう！ (2) 規則正しい生活をしよう！
- 2班 (1) 受験生としての自覚を持つ。 (2) 健康で文化的な最低限度の生活をする。
- 3班 (1) 日頃から学習を進める。 (2) 遅刻・ギリ登をしない。
- 4班 (1) 受験まで気を抜かずに頑張る。 (2) 体調管理をしっかりしよう。

校長先生・副校長先生と面接練習をしました！

三者面談期間中に、校長先生と副校長先生のどちらかの先生と面接練習をしました。

面接練習は、入試のためだけにするものではありません。これからの人生でたくさんの人と出会いコミュニケーションしていく上での「人間関係の基本」を学ぶことにもつながります。そして、自己PRなどの内容を考えることは、中学校生活での自分自身の成長を振り返る良い機会になります。本番と同様、自信をもって自分の言葉で熱意を伝えることができましたか。先生方のアドバイスを生かして、本番に臨みましょう。



人権教育講座～ハンナのかばん～

ホロコースト教育資料センター代表の石岡史子さん（ハンナのかばんーアウシュビッツからのメッセージ翻訳者）を講師にお迎えして「人権教育講座」が開催されました。事前に、道徳の授業や学校図書支援員の小澤さんによるブックトークでも取り上げました。今回の講座では、アウシュビッツで亡くなった13歳の少女ハンナの遺品であるかばん（レプリカ）を見せていただきました。石岡さんのお話を聞く前と後で、そのかばんの存在の大きさが変わって感じられたのではないのでしょうか。



講演を通して感じたこと・考えたことを一部紹介します。

・人間はみんな同じなのになぜユダヤ人だけが殺されるのかとモヤモヤしています。そして、ハンナが兄に最後に会うことができなくて亡くなってしまったことは、すごく悲しかっただろうし、悔しい一面もあったのではないかと考えました。

・3人に2人がユダヤ人だからという理由で差別され、最終的には銃殺されたり、ガス室に送りこまれて想像していたよりも本当に多くの人々が殺されてしまったことを知り、とても驚いて、絶対にあってはならないことだと感じました。今後、絶対にこのようなことが起こらないようにするためにも、もっと多くの人々がこのことについて知る必要があると思います。また、当時はガス室で、多くの人々が殺されてしまっていたけれど、現在は多くの犬が、飼い主がいなくて殺されてしまっているの、そのようなことが起こらないようにすることも今後の日本の課題だと思いました。

・今まで、第二次世界大戦中に起きたことと、何となく知っていただけでした。しかし、600万人のうち1人にこんなにたくさんのエピソードがあると知って、人が生きるということはずいことだと実感しました。また、今、日本は戦争をしていないけれど、差別の問題などさまざまなところでユダヤ人迫害に通ずるところがあると思いました。身近なところでは、いじめの問題でも同じことだと思います。だから、平等な社会とは何か、平和とは何かについて考え、それを実現するためには何が必要かについても考えていきたいです。

食育出前授業 12月21日(火)13:30～15:00

12月21日(火) 瀬尾哲也先生(帯広畜産大学准教授)による「アニマルウェルフェア」について、出前授業が行われます。お時間がありましたら、ご参観、よろしくお願いいたします。